

阪南大学で出前授業を実施

～ 実務の視点から信用金庫の金融機能など社会的意義を解説 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、6月20日（火）、阪南大学（本部 松原市、学長 田上博司）の金融教育に協力するため職員を講師として派遣し、経済学部で金融を専攻する1回生19名を対象に出前授業を実施しました。

当金庫は、令和3年に八尾市と地域活性化に向けた包括連携協定を締結しており、阪南大学も同市と包括連携協定を締結していることから、同市を通じた産学官連携事業として出前授業を開催したものです。

当日は、金融機関の基本機能や通貨の役割など基本的な金融の仕組みのほか、同校OB職員による企業への課題解決事例を解説し、受講生にとって信用金庫の金融機能や社会的意義について考える機会となりました。

当金庫はこれまでも、大学での寄付講座や中学生の職業体験学習の受け入れ、学生を対象とした商店街での商業体験イベントへの開催協力など、金融教育活動を通じた地域貢献に取り組んできました。今後も地域との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材の育成に貢献してまいります。

記

1. 日時 令和5年6月20日（火）9時00分～10時30分
2. 場所 阪南大学 経済学部
3. 受講生 金融専攻の1回生19名
4. 目的 阪南大学経済学部では、実践的な学力の習得ならびにキャリア形成支援の一環として、金融を専攻する学生に対して外部から講師を招いて授業を提供している。事例を交えながら理解を促し、金融リテラシーの向上につなげる。
5. 講義
(1) 名称 「地域を元気に！世の中を支える金融のしくみ」
－信頼で地域とつながる大阪シティ信用金庫－
(2) 主な内容
 - ・金融機関の基本機能
 - ・通貨の役割
 - ・金融犯罪への注意喚起
 - ・課題解決型金融事例紹介



事例を交え対話しながら解説する当金庫職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

